

“新たな風”で医学の進歩へ貢献する『済生医療』の取り組み 結石治療のプロが当院で手術見学



8月19日(水)に当院でPNL(経皮的尿路結石摘出術:皮膚から腎臓まで穴をあけて腎臓の中にある大きな結石を内視鏡で破碎・摘出する手術)の見学を開催しました。参加者は以下の方々です。

日本大学板橋病院 / 大野 将先生・森 望美先生
大口東病院 / 松崎 純一先生
順天堂大学医学部附属順天堂医院 / 野間 康央先生
都立大塚病院 / 高沢 亮治先生・北山 沙知先生
厚生連高岡病院 / 四柳 智嗣先生

上部尿路結石内視鏡治療標準化委員会の委員が私を含めて二名・第80回日本泌尿器科学会東部総会の『パネルディスカッション 上部尿路結石治療の現状』の演者が私を含めて三名集まりました。ほかの先生方も結石治療に熱心な方々ばかりです。



▲今回の参加者。左から四柳医師(厚生連高岡病院)、松崎医師(大口東病院)、森医師(日本大学板橋病院)、当院・車田医師、当院・吉水医師、高沢医師(都立大塚病院)、北山医師(都立大塚病院)、大野医師(日本大学板橋病院)、野間医師(順天堂大学医学部附属順天堂医院)。



手術は12時開始で、PNL一件・TUL(経尿道的尿路結石摘出術:尿の出口から細い内視鏡を挿入し尿管や腎臓の中にある結石を破碎・摘出する手術)二件・HoLEP(経尿道的前立腺レーザー切除術:尿の出口から内視鏡を挿入し尿道の脇に出来た前立腺のコブをレーザーでくりぬく手術)一件予定して、PNLとHoLEPは吉水が執刀・TULは車田が執刀しました。

手術見学後には、私がPNLや内視鏡について一時間程講義をし、病院近くの割烹で交流会を催し充実した見学会であったと思います。

当院泌尿器科は今後新潟大学の泌尿器科学教室と連携を強めてより患者さんと医師に有益な連携システムを作っていく予定です。

私が目標としている『日本の医療に風穴を開けて新しい流れを創る』ことに少しでも近づけるよう今後も同様な見学会を開催し同じ思いを持つ同士とともに精励して参りたいと思います。

(泌尿器科部長 吉水 敦)